



ゆきわり草

～利用者書～

ホームページアドレス : <http://shinseien-takaoka.jp>



発行元

(福)たかおか新生会新生苑
新生苑家族会

〒933-0353

富山県高岡市麻生谷3796

TEL:0766-31-1820

FAX:0766-31-1886

利用者さん 笑顔のひととき

あなたらしく くらす わたしらしく くらす



個別支援計画と意思決定支援の重要性

新生苑 生活支援課 課長 向井千代久

私達が利用者様に担った支援の役割は、単に日常生活の支援を提供するだけに留まりません。一番思っているのは、苑の基本理念「あなたらしくくらす・わたしらしくくらす」を実現するための道のりを共に歩むことです。この理念を実現するため、当施設が最も重視しているのが「個別支援計画」と「意思決定支援」の2つです。

まず個別支援計画ですが、これは画一的なサービスを提供するものではありません。利用者の個性、強み、好み、そして生活に対する思いを深く理解し、それに基づいたその利用者様だけの支援を組み立てるための羅針盤となるものです。私達はこの計画作成プロセスにおいて、利用者様の「どうしたい」という声や「家族の想いを傾聴します。単なる書類作成で終わらざることを、現場での日々の支援が計画に沿って柔軟かつ丁寧に実践されているかを常に検証し、利用者様が持つ能力を最大限に引き出し、日々の生活の中で「小さな」できた」を積み重ねるサポートをしていきます。利用者様の生活歴やこれまでの経験を尊重し「その人らしい」を支える支援こそが、真の個別支援計画と確信しています。

次に、「この個別支援計画を実行性のあるものにするために不可欠なことが、意思決定支援です。障害の有無にかかわらず、自分の人生における選択は、誰にとっても尊厳に関わる基本的な権利です。支援者として私たちは、利用者様が自身の希望や考えを最大限に表現できる場づくりに、分かりやすい言葉やツールを用いて情報を提供し、想いを引き出す責任があります。「何を食いたいか」「このような着せたいか」等、小さな決定から重要な決定に至るまで、利用者様が主役となり決めるプロセスを根気強く丁寧に支えます。

最後に「この個別支援計画」と「意思決定支援」を両輪として、利用者様が安心して生活できるように、私たちは専門性を磨き続け、チーム一丸となり支援に取り組んでいきたいと思っています。

オールディズライブ 12月14日(日)



みんな音楽に合わせて踊り、手品も披露して頂きました。

活 動 紹 介

石堤ふれあいホーム

10月14日(水)



招き猫を作って楽しい時間を過ごしました。



クリスマス会 クリスマスランチ 12月25日(木)



プレゼントを貰ったり、ご馳走やケーキを食べたりしてクリスマスを楽しみました♪

ふれあい育成スポーツ大会

10月24日(金)

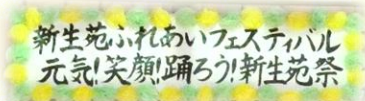


一生懸命練習した成果を出せるように頑張りました！



新生苑ふれあいフェスティバル

10月26日(日)



歌って踊って笑顔あふれる時間となりました♪

初釜 1月29日(木)



茶道教室の先生の教えに習い、皆さんにおもてなしの作法を披露し、お茶会の雰囲気を楽しみました！



お楽しみ外出 10月~11月

買い物コース 日帰り温泉コース



アウトレット小矢部で買い物や食事を楽しんだり、風の森の温泉で日頃の疲れを癒やしたりしました。



令和7年度家族会福祉講演会

令和8年2月8日

テーマ 「チエンジ高画」

講師 高画市長 出田 謙 氏

講演内容

「チエンジ高画」という事で、まず出てくるのが税金の使い方です。建物も大切ですが、それよりも人に対して効果的に税金を使っていく、福祉や医療にも金を使っても使っていくかと思っています。

私は「心の心を大切にしています。それは「謙虚な心」と「強い心」のことです。何気ない会話や現場の声、皆さんの意見などアドバイスを貰って進めていく。「これが「謙虚な心」です。「強い心」は、言ったことをやるべく実現する、掲げた公約を守ることです。

来年度は、福祉施設へのエネルギー予算補助やひとの親世帯等への予算を増やしていきたいと思っています。また、路線バスや病院のあり方などについても考え方をチエンジする中で出たお金を少しでも減らし、福祉等に回していきたいと思っています。これから市民の人達から意見を聞いてより良い市にならなければならないと思っています。

会 族 家



講演を受けて

出田市長が大切にしておられる「謙虚な心」と「強い心」は日々支援していくうえで利用者さんの声をよく聴き、よい良い環境で生活してもらうためにも重要であり、重要な部分が多くあると感じました。

○障害者の兄弟姉妹の気持ち

家族会 澤崎 誠次

○ 親が障害のある兄弟姉妹のケアに忙しく、孤独感を抱きがち。

○ 発作や命の危険がある様子を間近で見、辛いと感じる。

○ えらい子・かわいい子と期待されている。

○ 子ども頃から、自分のことより障害のある兄弟姉妹のケアを優先する生活を送る。

○ 障害者とその家族に対する世間の偏見に悩まされる。

○ 進路・結婚・出産を考えることで障壁となることがある。

○ 「生涯にわたり、兄弟姉妹の面倒を見なければならぬ」という期待・プレッシャーがある。

障害のある方を、親と兄弟・姉妹だけで支えるのではなく、社会の中の「支援の輪」で支えるという考え方が大切である。

○希望が池の清掃について

新生苑には「希望が池」と呼ばれる池があります。家族会が鯉を購入し、利用者さんと職員が鯉にえさをやっているんです。

このえさの時間は、利用者さんが楽しみにしているイベントですが、「ミニデーシヨンの場」にして、とても大切な時間となっています。

本年は「希望が池の清掃」は書面の和らした1月に実施されました。



○りんご狩り

今年度も11月12日に利用者さんと職員でりんご狩りを行いました。たくさんりんごがなっている木を見て、楽しんで収穫しておられました。また、収穫したりんごは昼食時に利用者さんみんなで美味しく頂きました。「甘くて美味しかった」と大好評でした。



「じいちゃん」より

かえでのリビングで昨日購入したお菓子を自ら他利用者にお菓子を配り、皆さんから「ありがとう」と言葉をかけられていました。(Mさん)

職員が昼食の準備をしていると、手伝いたいと言われたので謝意を伝え、テーブル拭き等をしてもらいました。(Iさん)

職員が夕食を運んだ際、雪が降っている事を伝えると、「雪かきしてあげたいんやけど私定悪くてせんわ。」と話される。職員よりTさんの優しい気持ちに感謝し、「ありがとう」と伝えていきます。(Tさん)

職員が台車に乗せた清掃用具を片付けていると、職員の横に来て台車を引き、その後も男性用物品などの片付けを率先して行つたため、職員より感謝を伝えると笑顔がみられました。(Nさん)

職員を居室に呼び、もらったクリスマスプレゼントを嬉しそうに見せてくれました。(Nさん)

実習生受け入れ

○富山国際大学 子ども育成学部

11月4日 ～ 17日

○富山短期大学 幼児教育学科

2月6日 ～ 23日

善意を寄せてくださいましたみなさん

※11月1日以降2月28日又

寄贈

- 石堤連合自治会
- 石堤自治会
- 柴野自治会
- 十日市自治会
- 麻生谷自治会
- 黒田新町自治会
- 石堤公民館
- 稲澤廣明
- 富山県善意銀行
- 埜田悦子
- イオンリテール株式会社
- 高田久司
- 高岡まこと銀行 JA高岡女性部
- 新生苑家族会
- 石堤校下体育振興会

敬称略・順不同

ボランティア

音のクレヨン

(ハートフルコンサート)

- 木村十四代 (華道教室)
- 高岡志貴野フィオンスクラブ
- (さつまいも掘り)
- 出村美好 (書道教室)
- ほほえみ似顔絵工房 (絵画教室)
- 三國由利子 (茶道教室)
- 荒井登枝子 (初釜)
- 島 絵里菜 (初釜)
- 中尾宗房 (初釜)

敬称略・順不同

退職された職員

横堀 正和 さん

(令和7年11月31日付)

グループホームの日々の様子



食前食後にテーブル拭きを行い、清潔を保っています。

入浴後の各自洗濯を行っています。洗濯物を干している様子です。

インフル・コロナワクチン接種

11月19日にインフルエンザワクチン接種を、12月17日にコロナウイルスワクチン接種を新生苑にて行いました。緊張される利用者さんもおられました。無事に接種を終えることが出来ました。

グループホームかえで 入居者募集

対象	18歳以上の知的障がい者(男性)
定員	10名
費用	家賃 40,000円 (市町村から上限10,000円の補助があります) 光熱水費 10,000円 食費 朝食250円、昼食580円、夕食520円(食数実績による) (昼食代を除く1ヶ月の上限を20,000円とします)

編集後記

暦の上では春を迎えましたが、冬の名残と春の兆しが交差するこの時期は、社会福祉の現場においても、立ち止まりながら次へ進む力が問われる季節です。寒さの中で重ねてきた支援や対話は、すぐに形にならなくとも、確かに人の心を温めています。変わりゆく季節の狭間で、私たちが担う役割を改めて見つめ直し、これから始まる新たな日々へとつなげていきたいと思えます。年度の節目を迎える皆さまも、どうかご自身を労わりながら、穏やかな春を迎えられますように。